

草津で

# ワーク・ライフ・バランスに 取り組んでいる事業所の紹介

アンケート調査結果から事業所を抽出し、インタビューを行いました。

CASE  
1

## 南草津病院

業種:医療(病院) 職員数:211名

職員の満足度の向上が、  
「ずっとここで働きたい」  
につながる



各部局長で毎週月曜日に朝礼を行い、  
情報共有をします。



### ◆大切なのは、企業が職員を想うこと

平成28年から、3年計画でワーク・ライフ・バランスに取り組んでいます。その一つとして、看護部職員全員にアンケート調査を実施しています。アンケートを取ることで問題を明確にして、改善策を考え実行しようと考えたものです。

### ◆こんなことを改善しました!

1年目のアンケートでは、「看護職員を大切にしている組織である」という割合が31%と低かったため、改善策として「看護部通信」を定期的に発行し、看護部内の情報共有を図りました。その結果、3年目は46%に上昇しました。

また、「一週間程度の連続した休暇を必要に応じて取得できる」割合が、1年目は15%と低かったため、6月から11月に夏季休暇を連続で取ってもらうこととし、3年目は44%に上昇しました。夜勤が必要なので、**連続休暇が取りにくい職場**ですが、「夏季休暇」という目標を掲げることで、「**全員が必ず取れる休暇**」という意識が生まれ、改善がみられました。



### ◆看護補助者への手当

「職員として、どのような看護ケアを行いたいのか」というアンケートでは、「**専門的な業務を全うしたい**」との答えが多く、看護師が専門性を発揮し業務に専念するためには、看護補助者の確保が重要であることを痛感しました。そこで当院では、「**看護補助者への独自の手当**」の交付にふみきりました。これにより「あ

なたの部署では看護ケアに費やす時間を十分とることができる」と感じる職員が1年目27%から3年目39%にアップし、効果が出ています。

職員の入替わりもあり、離職率も高い中、職員の満足度向上が「ずっとここで働きたい」という思いにつながります。今後も継続して取り組みたいと考えています。



看護に専念!

補助します!

